

# グルジア政治・経済 主な出来事

【2013年11月25日～12月1日】

〔当地報道をもとに作成〕

平成25年12月5日

在グルジア大使館

## 主な動き

### 1. アブハジア・南オセチア

#### 【アブハジア】

##### ▼感染症の拡大(28日)

・トクヴァルチェリ地区で赤痢およびロタウイルスによるものとみられる感染症が拡大。トクヴァルチェリ地区の病院は28日までの4日間で300人以上を診察した。

#### 【南オセチア】

##### ▼社会経済協力に関する第9回ロシア・南オセチア「政府」間委員会会合(27日)

・ツシンヴァリで開かれた会合に出席したフロポニン露副首相は、2012年～2013年の南オセチアに対する支援は20億ルーブル強であったが、2014年は28億ルーブル以上になるとして、経済の復興ではなく経済発展のためのプログラムの実施に移行する時であると発言。

##### ▼行政境界線上の障害物の設置の再開に関するEUMMの声明(29日)

・9月以降障害物の建設活動が進められていなかったが、南オセチア行政境界線付近のディルビ・ゴゲティー帯で約160mにわたって赤い金属の杭および35m以上の鉄条網が設置されているのが確認されたとして、EUMMが懸念を表明。並行して、露国境警備隊は「国境」を通過しないよう警告する標識の設置を集中的に進めている。

### 2. 外 政

#### ▼ブリック仏貿易大臣がグルジアを訪問(25日)

・マルグヴェラシヴィリ大統領、ガリバシヴィリ首相、クヴィリカシヴィリ経済・持続的開発大臣、ハドゥリ財務大臣と会談。「ブ」仏貿易大臣はEU・グルジア間の「深化した包括的自由貿易地域」をてこに、仏・グルジア間の貿易を今後2年間で2億4000万ユーロへと倍増させることを目標とすると話した。また、フランス開発庁(AFD)がトビリシに地域事務所を開設することが発表された。

#### ▼パンジキゼ外務大臣がブルガリアを訪問(26日)

・ブルガリアのプレヴネリエフ大統領、ヴィゲニン外務大臣、ミコフ国会議長およびストイロフ国会外務委員会委員長と会談。ブルガリア側はグルジアの大統領選挙が民主的に行なわれたことを歓迎し、グルジアのEUおよびNATOへの加盟方針に対する支持を改めて確認。

・ヴィゲニン・ブルガリア外務大臣と「ブルガリア・グルジアの外務省間の協力・協議の拡大」に関する議定書および2014年の行動計画に署名。「ヴ」ブルガリア外務大臣は、2014年1月よりブルガリアは「黒海経済協力機

構」(BSEC)の議長国として同機構とEUとの協力を発展させることが優先的な課題になると述べた。

・ヴィリニウス首脳会議について、「ヴ」ブルガリア外務大臣は、会議後にEUは東方パートナーシップ諸国に対して「より明確な展望」を示さねばならないと発言。

#### ▼ペトリアシヴィリ欧州・欧州大西洋統合担当国務大臣がラスムセンNATO事務総長と会談(27日)

・ブリュッセルで行なわれた会談では、ザルカリアニ外務次官も同席し、2013年の年間計画の進捗とロシア・グルジア関係について話し合われた。

・「ペ」国務大臣および「ザ」外務次官はNATO・グルジア委員会の会合にも出席。会合後、同席したアパトゥライNATO事務総長コーカサス・中央アジア担当特別代表は、「グルジア側は、グルジアの前進と進行中の改革に基づいて、NATO加盟への明確な道を確認した」「EUとの連合協定の仮署名はグルジアの欧州・大西洋への道のりを不可逆にする重要な一歩である」と述べている。

#### ▼ウクライナ情勢に関するガリバシヴィリ首相の発言(27日)

・21日にウクライナがEUとの連合協定署名準備プロセスの一時停止を発表したことについて、ガリバシヴィリ首相は「ウクライナの決定がグルジアに否定的な影響をもたらす恐れがあるという意見には同意しない。グルジアはウクライナほどロシアに依存していないので、ウクライナの例はグルジアには当てはまらない」と発言。

#### ▼EU東方パートナーシップ首脳会議(28日～29日)

・ヴィリニウスで催された首脳会議にはマルグヴェラシヴィリ大統領、パンジキゼ外務大臣、クヴィリカシヴィリ経済・持続的開発大臣、ペトリアシヴィリ欧州・欧州大西洋統合担当国務大臣、ザルカリアニ第一外務次官らが出席。モルドバとともにグルジアはEUとの連合協定に仮署名を行なった。

・29日、EU・グルジアの連合協定の仮署名を記念する公式式典が催され、「パ」外務大臣とアシュトンEU外務・安全保障政策上級代表が文書に署名。「深化した包括的自由貿易圏」(DCFTA)に関する部分には「ク」経済・持続的開発大臣およびデグフト通商担当欧州委員が署名した。

・グルジア・EUは連合協定に係る公式協議を2010年7月から続けていた(DCFTAについては2011年12月から)。  
・公式式典で「マ」大統領は、グルジアが「EUとの政治的連合および経済的統合に向けた後戻りすることのない一歩を踏み出した」として、グルジアは「改革と統合の両面で(EUパートナー諸国の)リーダーとなることを目標とする」と演説。グルジアは2014年9月に連合協定に

正式な署名をすることを目指している。

・「マ」大統領はオランダ仏大統領、コモロフスキ・ポーランド大統領、ベルズインシュ・ラトビア大統領、アンシプ・エストニア首相、ブラトウシェコ・スロヴェニア首相、シュルツ欧州議会議長らと会談。「ア」エストニア首相は来年前半にグルジアを訪問する意図を表明。

#### ▼GUAM外相非公式会合(29日)

・EU 東方パートナーシップ首脳会議と並行してヴィリニクスで GUAM 外相非公式会合が行なわれ、リトアニアのリンケヴィチウス外相も出席。GUAM メンバー国の欧州志向を歓迎し、EU・GUAM 間の協力を推進する用意があることを表明する共同声明を発表した。

### 3. 内 政

#### ▼駐日本大使を含む大使候補者7名の指名(25日)

・政府は大統領の承認を受けるため、マルグヴェラシヴィリ大統領に対し駐ブルガリア、中国、ドイツ、イラン、日本、ヨルダンおよびウズベキスタン大使の候補者を提出。11月17日に憲法改正が発効して以降、大統領は政府の指名を受けて大使を任命・罷免する権限を持つ。国会の承認は必要とされなくなった。

・レヴァン・ツィンツァゼ外務省国際経済関係局局長が駐日本大使に指名された。

#### ▼国内避難民の資格に関する新法案の審議(26日)

・国会は国内避難民 (IDP) の資格について新しい法案の審議を開始。IDP に対する援助を月額 45 ラリに増額する (従来は 22~28 ラリ) 代わりに、1,250 ラリの所得制限を設定する。2013 年 6 月の時点では IDP として 271,592 人が登録されていたが、現在 IDP の再登録が進められており、3 万人ほど少なくなると見込まれている。新法案は採択されれば 2014 年 3 月 1 日から発効する予定。

#### ▼EU東方パートナーシップ首脳会議に関する国会声明(27日)

・国会はヴィリニクスでの東方パートナーシップ首脳会議に関し、欧州との統合に対する支持を再確認する声明を採択した。与党連合「グルジアの夢」が提案したもの。声明は、「国会は 2014 年に連合協定に署名が行われるためにあらゆる措置をとる用意がある」「東方パートナーシップ諸国が欧州との統合プロセスにおいて何者にも侵害されない選択の自由を有することを望む」と述べている。  
・同日の国会審議では野党「統一国民運動」がウクライナに対するロシアの「政治的・経済的圧力および脅迫について懸念を表明する」旨の別の声明案を提案したが、与党連合の反対により採択されなかった。

#### ▼「再統合問題担当国務大臣」を改称(29日)

・ザカレイシヴィリ再統合問題担当国務大臣によれば、アブハズ人およびオセチア人社会との対話を促進するため、同国務大臣の名称は 2014 年 1 月 1 日から「和解・市民平等担当国務大臣」に変更される。

・2008 年 1 月に「紛争解決担当国務大臣」から名称が変更された際、アブハジアおよび南オセチア側が反発。2013 年 3 月にも「ザ」国務大臣は再改称を提案したが、サーカシヴィリ大統領が拒否していた。

### 4. 経 済

#### ▼2013年1月~10月の貿易収支(25日)

・国家統計局が発表。貿易額 8591 百万ドル (前年同期比 1.0%増)、輸出額 2306 百万ドル (同 16%増)、輸入額 6285 百万ドル (同 4%減)。貿易収支は 3979 百万ドルの赤字。

・貿易相手国の内訳は地域別で CIS 諸国 34%、EU 諸国 27%、その他 39%。国別には多い順にトルコ、アゼルバイジャン、ウクライナ、ロシア、中国。

#### ▼マルグヴェラシヴィリ大統領がEBRD総裁と会談(28日)

・EU 東方パートナーシップ首脳会議が行われていたヴィリニクスで「マ」大統領がチャクラバルティ欧州復興開発銀行 (EBRD) 総裁と会談。「マ」大統領は 2015 年の EBRD の年次総会をグルジアで開催する準備が整っていると述べた。「チャ」EBRD 総裁は「過去 20 年間で約 20 億ユーロの投資がグルジアで行なわれた。この協力関係を今後も続けていきたい」と話した。

#### ▼EBRDが送電線の建設に2500万ユーロの借款を提供(28日)

・サメグレロ地方のジヴァリからホルガまでの 60km を結ぶ 220KW の送電線、8km の 500KW の高圧送電線および 500/220KW の変圧所を建設。建設は 2016 年までに完了予定。返済は 2017 年から 2028 年にかけて行なわれる。

#### ▼政府が修正予算案を国会に提出(29日)

・国会に提出された 2014 年予算案の修正案は、歳入 7320 百万ラリ、歳出 7220 百万ラリを見込む。10 月初めに提出された当初案に比べ歳入・歳出ともに減額。ハドゥリ財務大臣は「GDP の予想成長率 4%に合わせて調整した」とコメント。

### 4. その他

#### ▼チェラ村のミナレットが再建される(28日)

・グルジア南部サムツヘ・ジャヴァヘティ地方のチェラ村のモスクで 7 月に建設されたミナレットが、違法に建設されたとして 8 月末に強制撤去され、地元のムスリムが反発していた。必要な手続きを経て、27 日、アディゲニ地区議会はミナレットの再建を許可。

#### ▼M3. 9の地震が発生(29日)

・29 日夜 23 時 30 分、グルジア東部ラゴデヒから西に 13km のグジャレティ村を震源とするマグニチュード 3.9 の地震が発生。揺れは首都トビリシでも感じられた。被害は確認されていない。